※令和４年度以降入学生用

学校番号	１２０４

令和８年度　学共生科

教科	学共生	科目	（学）生命を考える	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

あなたは普段、生命（いのち）の大切さを感じることはありますか？それは、普段私たちにとってあまり意識することがないかも知れませんが、社会には多様性のある生命で構成されており、それぞれが尊重されるべきものです。

この授業は、特に社会的弱者と呼ばれる方々のかけがえのない生命に着目し、彼らの生命を取り巻く環境にはどのような課題があり、私たちはどう取り組むべきかを考えます。

授業は主担当者のみならず、さまざまな外部講師や外部団体からの体験授業を通して生命の多様性や大切さを感じられるようにしたいと思っています。

外部講師は主に障がいを抱えている方々をお招きし、生活での困りごとを中心に教えていただきます。外部団体は主に子育て支援を行う団体であり、みなさんには実際に小さな子どもと触れ合ったり、その保護者と親になることや子育ての大変さなどについて語り合っていただきます。

学習方法は、積極的に授業に参加し、他者の意見を傾聴し、発言やレポートであなたの考えを表現することで学びを深めることができると思います。

子どもと触れ合う授業では、体操服に着替える、爪を切る、髪を束ねる、化粧をしないなどのルールがあります。このルールを守れない人は授業に参加できませんので注意してください。

２　学習の到達目標

生命を慈しむ気持ちと生命への尊さへの理解力を身につける。
誰もが生命を大切にして生きるための課題発見力と解決・改善力を身につける。
体験学習を通じて様々な生命と触れ合うことで、ソーシャルインクルージョン（社会的包摂）を実現できる福祉マインドを身につけ、自分だけでなく他者も尊重できる力を身につける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・生命の大切さについて理解を深め、その援助方法について理解を深めている。 ・生命に関する様々な資料や映像などから得た情報を考察・活用し、知識・技能として身につけている。 ・体験学習から得た経験を自らの知識・技能として身につけている。	・生命を取り巻く環境を学び、そこから見える問題点や課題について判断し、その改善・解決のために何ができるかについて考察し、表現することができる。 ・自らの意見を表現し、他者の意見も傾聴することで他者理解に努め、生命の多様性について考えを深めようとしている。 ・福祉マインドを表現している。	・生命を取り巻く諸問題を身近な問題であると自覚し、主体的にその問題を解決しようとしている。 ・ソーシャルインクルージョンを実現する社会の構築を目指して自ら学び，その創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。 ・体験学習において積極的に参加し、生命の大切さを意欲的に学ぶ姿勢が見られる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
4・5・6・7月	①さまざまな生命について	・オリエンテーション 自己理解、他者理解 ・さまざまな生命 難病 ホームレス 障がい者 子ども ・生命を取り巻く問題 少子高齢化 平均寿命、死因 ・子どもと触れ合い体験 （外部団体） ・社会福祉援助技術 など	a: さまざまな生命の諸問題などについて理解を深め、その援助方法や知識を身につけている。 b: 生命を尊重し、ソーシャルインクルージョンを実現するための方法について考察・表現している。 c: 他者の意見を傾聴し、授業や体験学習に主体的・意欲的に取り組んでいる。	・授業プリント ・発言	・授業プリント ・授業態度 ・発言	・授業プリント ・授業態度 ・発言
9・10・11月	②障がい者・子どもの生命について	・ピクトグラム ・聴覚障がい(外部講師) 手話など ・視覚障がい(外部講師) 手話での唄など ・子どもと触れ合い体験 （外部団体） ・社会福祉援助技術 など	a: 障がい者の抱える諸問題などについて理解を深め、その援助方法や知識を身につけている。 b: 生命を尊重し、ソーシャルインクルージョンを実現するための方法について考察・表現している。 c: 他者の意見を傾聴し、授業や体験学習に主体的・意欲的に取り組んでいる。	・授業プリント ・発言	・授業プリント ・授業態度 ・発言	・授業プリント ・授業態度 ・発言
12・1・2月	③子どもを取り巻く社会とその問題など	・子どもの虐待に対するプログラム(外部団体) ・子どもと触れ合い体験 （外部団体） など	a: さまざまな子どもを取り巻く諸問題などについて理解を深め、その援助方法や知識を身につけている。 b: 生命を尊重し、ソーシャルインクルージョンを実現するための方法について考察・表現している。 c: 他者の意見を傾聴し、授業や体験学習に主体的・意欲的に取り組んでいる。	・授業プリント ・発言	・授業プリント ・授業態度 ・発言	・授業プリント ・授業態度 ・発言

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度